

ヘルプマーク及び信州あいサポート運動推進事業について

障がい者支援課

1 事業の目的

- ◇ 信州あいサポート運動の推進（支え手）と、ヘルプマークの普及啓発（受け手）を障がい者理解を促進する両輪と捉えて推進を図ることにより、障がいのある人もない人も共に暮らしやすい共生社会を実現する。



ヘルプマーク

「援助や配慮を必要としている方が、身に着けることで、周囲の方に配慮を必要としているのを知らせることができる表示」として、平成 29 年 7 月に JIS に制定され、全国的な統一マークとなる。

2 平成 31 年度 事業内容

区 分	内 容
あいサポーターの養成	<p>障がいのある方に対してちょっとした手助けや配慮を実践する「あいサポーター」を養成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいサポート推進員の設置 ・あいサポーターの募集及び研修 ・あいサポートバッジ等の作成・配布
県民との協働による運動推進	<p>あいサポーター研修講師の養成及び企業・団体との協働により信州あいサポート運動の推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいサポートメッセンジャーの養成 ・あいサポート企業・団体の認定 ・信州あいサポート運動の普及啓発 バス・タクシーへの啓発ステッカーの掲示等
ヘルプマークの周知・普及	<p>援助や配慮が必要であることを意味する「ヘルプマーク」の普及と併せ、積極的な周知（広報）活動を行うことにより、援助や配慮を必要としている方が暮らしやすい共生社会の実現を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルプマークの作成・配布 ・WEB広告を活用したヘルプマークの周知 ・「ヘルプマークエバンジェリスト※(仮称)」の任命 <p>※・障がい当事者及び民間人を「ヘルプマークエバンジェリスト(伝道師)(仮称)」に任命し、ヘルプマークの周知普及活動の強化を図る。</p>

